



2023年11月6日

青山学院大学 経営学部とシンガポール航空が 産学連携でビジネスを牽引する若者を育成



青山学院大学 経営学部教授 小野謙司氏：前列右から4番目
シンガポール航空 日本支社長 ケニー・テオ氏：前列左から3番目

青山学院大学(東京都渋谷区、学長 阪本浩) 経営学部とシンガポール航空(日本支社:東京都千代田区、日本支社長 ケニー・テオ)は、2023年4月から10月にかけて共同で「第1回マーケティング学習プログラム」を実施したことを発表しました。

この共同学習プログラムは、青山学院大学の学生が、実際にシンガポール航空の企業活動を体験するとともに、シンガポール航空が日本の利用者のニーズ、とりわけZ世代をより深く理解し、利用者の旅行体験をより充実したものにするための革新的な方法を探ることを目的としています。これは青山学院大学 経営学部が開講する授業「経営演習(担当教員:経営学部教授・小野謙司¹)」の中で展開され、日本の大学とシンガポール航空が初めてコラボレーションする「マーケティング学習プログラム」です。

産学連携を通じて、青山学院大学 経営学部の3年生および4年生の学生20人が、世界をリードする航空会社で、数々のアワード受賞歴もあるシンガポール航空のセールス・マーケティング戦略、プロダクトの特徴などについて、本プログラムを通して学びました。また期間中、8月28日～9月1日の間、共同プログラムの一環としてシンガポールを訪問し、[クリスラボ\(KrisLab\)](https://bit.ly/47jR7ax)²(<https://bit.ly/47jR7ax>)にてシンガポール航空本社カスタマーインサイトチームと、日本の若い世代がシンガポール航空を利用する動機となるものは何かについてのフォーカスグループにも参加しました。

¹ 青山学院大学 経営学部 マーケティング学科教授。専門分野はマーケティング、サービスマネジメント、顧客経験、顧客満足度指数。

² クリスラボ(KrisLab)は、シンガポール航空のデジタルイノベーションラボです。クリスラボは、シンガポール航空グループのスタッフが革新的なアイデアを開発し、外部パートナーやスタートアップ企業、定評のある未上場企業や起業家に対して支援を提供する団体や組織と共同イノベーションを行うための共同ワークスペースとして機能しており、シンガポール航空グループが事業運営のあらゆる面でテクノロジーを駆使しデジタル化を推進するための中核を担っています。



青山学院大学 経営学部教授 小野譲司氏：前列左端
シンガポール航空 カスタマーインサイト・シニアマネージャ ジェラルド・タン氏：2列目左端

Z世代をターゲットにした機内食というテーマでは、シンガポールを代表する料理のひとつであるチキンライスをアレンジした「チキンライスバーガー」を機内で提供するというアイデアが提案されました。カトラリーなしで食べられる機内食を提供することで機体への搭載重量の軽量化を図ることができ、CO2排出量削減を目指すことができます。また、Z世代をターゲットにした旅行商品というテーマでは、人々の性格タイプを16のカテゴリーに分類するための心理学的なツールであるMBTI診断を活用した自分だけの旅程表を立てられる旅行商品のアイデアも提案されました。このコンセプトは、個性を重視し、海外旅行経験が比較的浅い若い世代が自分だけの旅行プランを作成することを支援するものです。

青山学院大学 経営学部教授である小野譲司氏は、次のように述べています。
「学生にとっては、実践に近いところでマーケティングを学ぶ機会であることはもちろん、実際に現場で働かれている方々とインタラクションする中で、仕事や働くことの意義を考えたり、海外に目を向けるきっかけにもなったと感じています。シンガポール航空にとっても、日本の大学生と直に対話し、学生の視点やアイデアを聴いていただくことを通して、調査会社の報告書とは異なった気付きやインサイトを見出していただければ幸いです」

このプログラムに参加した青山学院大学 3年生の学生は、次のように述べています。
「シンガポール航空との産学連携でのプロジェクトを通して、企業が企画を考える際には、その企業が実施する意義を本当に大切にしていることが分かり、さらにその意義とターゲットのニーズを兼ね合わせた企画を考えることの難しさを感じました。また、航空業界についてやシンガポール航空がどのようなことを大切にしているのか、ターゲットのニーズをどのように形にしていけるのかなどさまざまなことを学ぶことができました」

シンガポール航空 日本支社長であるケニー・テオは、次のように述べています。
「青山学院大学や小野教授と協力し、若い世代を育てるために実践的な経験を提供できたことを光栄に思います。日本への就航が55年を迎えた、世界をリードする航空会社としての社会的責任としてもとても良い機会となりました。そしてこれからも、お客様や私たちがサービスを提供するマーケットに最高のサービスを提供することに全力を尽くします。この産学連携を通じて、顧客体験全体を向上させる可能性のある革新的なアイデアを見出すことができました。今後も青山学院大学との連携に期待しています」

青山学院大学について

青山学院は、米国のメソジスト監督教会が日本に派遣したキリスト教宣教師によって創設された3つの学校を源流とし、2024年に創立150周年を迎えます。本学は新約聖書の一節である「地の塩、世の光」をスクール・モットーとし、広く世界に目を向け、自ら問題を発見し、その解決策を探し、すべての人と社会のために光を灯し、導きとなる人材の育成に創設当初より努めてきました。青山学院大学は、11学部27学科を擁する総合大学として、これからも創設時の原点を忘れずに、「地の塩、世の光」となる有為な人材を社会に送り出すべく、努力を重ねてまいります

シンガポール航空について

シンガポール航空グループは、マラヤンエアウェイズ・リミテッドを前身に 1947 年に設立しました。その後、マレーシアエアウェイズ・リミテッド、さらにマレーシア・シンガポール航空 (MSA) に社名を変更。1972 年には、MSA がシンガポール航空とマレーシア航空に分離しました。当初は保有機 10 機で 18 か国 22 都市に運航をしていましたが、現在は世界的なインターナショナルエアライングループに成長しました。シンガポール航空は、そのブランドの果たすべき役割として 3 つの柱である「Service Excellence」、「Product Leadership」、「Network Connectivity」の向上に継続的に取り組んでいます。

シンガポール航空は「スターアライアンス」に加盟しています。シンガポール航空公式ウェブサイト：
singaporeair.com

本件に関する報道関係問い合わせ先

青山学院大学

政策・企画部 大学広報課

TEL: 03-3409-8159

Email: agu-kouhou@aoyamagakuin.jp

シンガポール航空

シンガポール航空 日本支社

広報・業務部: 徳田、江頭

Tel: 03-6747-9820

Email: PA_Japan@singaporeair.com.sg

広報代理店 MSL 戸田佳折、ティオン晴子

Tel: 090-2417-9553 (戸田)、070-3042-6766 (ティオン)

Email: sqjapan_pr@mslgroup.com